



第 81 号

東稲ニュース

早稲田大学校友会東久留米稲門会

平成 27 年 3 月 10 日発行
発行責任者 安次峰 暁
編集責任者 別処尚志
E-mail:satoru_ajimine@hotmail.co.jp
http://homepage2.nifty.com/35292/

総会特集号

東久留米稲門会第 21 回定時総会のご案内

東久留米稲門会会長 安次峰 暁



こんにちは、桜の開花が待ち遠しいこの頃ではありますが、ご健勝のこととお慶び申し上げます。会員の皆様には日頃、多大なご支援とご協力を賜りまして心より御礼を申し上げます。

この度、「東久留米稲門会第 21 回定時総会」を下記の通り開催致します。今年は役員改選の年になっております。なお、今回は昨年までとは次第を変えて①「総会」、②「講演会」、③「懇親会」の順に行います。ご多用中のこととは存じますが大勢の皆様のご出席をお待ち申し上げます。

それから、毎年、会員の方へ定時総会のご案内を出す際、約 1000 名の『校友』の方へも会員になって頂きたい、「入会の案内」と、この「東稲ニュース・総会特集号」を配付致しております。郵便局で同封の払込書で年会費を納入下さるだけで「会員」となることが出来ます。東久留米稲門会は約 160 名の会員が交流をはかり、共通の趣味を楽しんだり、それぞれの見聞を高めていったりすることを目的の一つとしております。

日々のストレスを発散すべく学生時代に戻って地元での談笑、飲み会等、そして、いろいろな部会での趣味の拡充、スポーツでの体力維持、ボランティア等々、仕事とはまた別の地元を根を張った生活の一部にして頂きたい入会をお誘い申し上げます。

第 21 回定時総会・懇親会のお知らせ

日 時	: 平成 27 年 4 月 26 日 (日) 午後 2 時 00 分
場 所	: 成美教育文化会館 1 階 ギャラリー 東久留米市東本町 8-14 TEL042-471-6600
定 時 総 会	: 午後 2 時 00 分
	議題 平成 26 年度事業報告 平成 26 年度収支報告 同会計監査報告 平成 27 年度事業計画 平成 27 年度収支計画 平成 27 年度役員改選
文化講演会	: 午後 3 時 00 分
	講師 中村英行親方 (元関脇琴錦佐渡ヶ嶽部屋所属) 演題 『相撲道とは』
懇 親 会	: 午後 4 時 45 分 3 階大研修室 会費 3,000 円

東久留米稲門会入会のお勧めと、会員継続のお願い

* 校友の皆様へ

本年度 20 周年を迎え、当会の各行事、各部会・サークル活動が活発に行われております。「東久留米稲門会に入って良かった！稲門会は面白い！」という声が多く、多くの会員から聞かれるのは次のようなことからです。

- ① 地元で同窓の友人ができる。 ②部会、サークルが多くあり、同じ趣味を持つ人と仲間になれる。
- ③新年会、総会懇親会、秋の旨いもの会では、飲食のなかで親交を深められ、早稲田の校歌を全員で歌うことができる。

会員になると・・・

東久留米稲門会の会員として登録され、奇数月 10 日発行の「東稲ニュース」及び各部会の案内チラシが各地区のポストマンにより宅配されます。毎年 7 月に発行する新年度会員名簿（規約、弔慰規定含む）が、配付されます。また、当会主催の総会、新年会、秋の旨いもの会のご案内の他、太極拳、囲碁、俳句、書道の各部会では、同趣味の仲間と親睦を深め、技量の向上も図られます。また、女性、散策山歩き、ゴルフ、グルメ、郷土研究、ウォーキング、カラオケ、旅行、早慶戦観戦、ラグビー観戦、芸術鑑賞部会及び映画鑑賞、講演会に何時でも参加できます。早稲田は一生楽しめます。地元同士のお仲間になりませんか。校友の皆様の入会を心からお待ちしております。

*会員の皆様へ

平成 27 年 4 月より、新年度になります。平成 27 年度（平成 27 年 4 月より平成 28 年 3 月）も引き続き東久留米稲門会の会員継続をお願いいたします。また、早稲田大学校友会会員を中断している、あるいは未入会の方、早稲田大学奨学生を応援するために校友会への入会をお願いします。（入会申込書同封）今年度も会員継続よろしくをお願いいたします。

*年会費の振込手続

年会費は 3,000 円です。同封の払込取扱票（青色）を使用して最寄りの郵便局から 5 月末日までにお振込みください。尚、総会にご出席の方は受付の際 3,000 円をお支払いいただく方法もございます。

*総会出欠返信用はがき

同封のはがきに出欠のほか必要事項をご記入のうえ 4 月 10 日（金）までにご投函下さいますようお願いいたします。

会の告知板

【部会予定】

3 月 25 日(水)	ウォーキング部会「レインボーブリッジ お台場散策」	08:55	東久留米駅
3 月 29 日(日)	散策山歩き部会「矢川と国立市南部ハイキング」	09:15	東久留米駅
4 月 5 日(日)	臨時役員会	16:00	生涯学習センター
4 月 18 日(土)	総会資料印刷	16:00	生涯学習センター
4 月 26 日(日)	定時総会	14:00	成美教育文化会館
5 月 11 日(月)	ゴルフ部会「稲門例会」（詳細未定 女性参加促進）		
5 月 14 日(木)～15 日(金)	旅行同好会「常磐道とスパリゾート・ハワイズ」	06:45	東久留米市役所
5 月 26 日(火)	ウォーキング部会「水天宮、両国方面」	08:55	東久留米駅

【大学・校友関係】

4 月 10 日(金)	稲門祭実行委員会（清水幹事、村野幹事出席予定）	18:30	早大井深ホール
-------------	-------------------------	-------	---------

【会の報告】

◎1 月 25 日(日) 東久留米稲門会新年会

恒例の東久留米稲門会新年会が 1 月 25 日(日)に開催された。昨年の 20 周年記念行事、11 月のメインイベントの余韻が残る成美教育文化会館で、会員約 50 名参加のもと、村上幹事の司会により今年の新年会がスタート。安次峰会長の年頭の挨拶、安宅初代会長の乾杯と進み、料理・酒ともに、年齢層を感じさせない勢いで皆の胃袋に納まって行った。歓談の輪が会場に広がり、盛り上がり最高潮になったところで平山前会長の中締めとなった。今回は欠席の大矢幹事に代わり長束輝夫会員と梶井琢太会員の協力によるリード、大島会員のハモニカ伴奏で校歌斉唱となり、エールを交換してお開きとなった。



梶井会員のリード、大島さんのハモが伴奏で校歌斉唱

◎役員会報告 平成26年度第5回役員会が2月8日(日)16:00～生涯学習センターにて開催された。
 <議事録概要>

1. 大学・校友会・近隣稲門会・三田会関係：各総会等への出席報告及び参加予定調整。
2. 来年度の役員体制について 退任希望の取り扱い他協議
3. 第21回定時総会について (成美教育文化会館、ギャラリー・大研修室)
 - (1)定時総会 4月26日(日)14時～14時45分 司会：渡辺副会長 議長：安次峰会長
 来賓の挨拶は、議題の前にする。東久留米市長へも招待状を届ける。議案につき討議
 - (2)文化講演会 15時～16時30分 司会：小牧 講演者中村親方 東久留米市報への手配：小牧
 - (3)懇親会 16:45～18:30 司会：村上幹事 ケータリング業者：楽膳
 - (4)総会案内印刷3月7日(土) 案内は3月21日(土)までに配布、返信4月10日(金)まで。
 - (5)臨時役員会4月5日(日)16:00生涯学習センター (6)総会資料印刷4月18日(土)16:00～(同)
4. 広報関係 東稲ニュース：執筆依頼、ホームページ：進捗なし
5. サークル・部会関係 麻雀部会の新設について、法を守り「ギャンブルは禁止」を条件とする。
6. その他 新年会会計報告 (P.13に記載) 20周年記念事業アンケート回収 臨時役員会：4月5日(日)

◎2月14日(土) 三多摩事務局連絡会議

平成27年2月14日(土)15時より、立川アイム第2学習室で三多摩事務局連絡会議が開催された。これは、26市の幹事長及び事務局長の会議で今回初めてのものです。各稲門会は全員参加、その他野崎組織強化委員長、大島組織強化副委員長及び支部長、副支部長、事務局長が参加した。この会議は三多摩支部の円滑な運営や課題を検討するために設立したもので現在の処、意思決定はできず問題を提起するまでである。今回の主な協議事項は以下の通り

1. 稲門祭グッズ販売準備状況、全体の目標は本年度と同額の予定であり、当会も昨年度と同じ見込
2. 少子高齢化への対応、各稲門会の会員増強につき発表があったが、基本的には勧誘方法大差なし。
3. ブロック制の見直しについては、ブロックの割当でなく各稲門会の意向を重視するべきとの意見が多かった。具体的結論はせず、次年度への引継。また、支部長の任期は1年度だけでなく、再任も検討事項となった。

高橋哲男記

◎2月28日(土) 校友会幹事長事務局長会議

14時00分～15時30分、大隈小講堂で幹事長事務局長会議が開催された。主な連絡事項としては、①福田代表幹事より、vision150への大学のサポート及び校友会高齢化の対応として、年次稲門会の活性化、HEALTHYSTUDYの活用 ②事務局より、2016年代議員・商議員の改選及び2015年度組織強化補助金についての説明—来年度も申請すべき ③委員会報告のなかでは、記念会堂が、8月より改築、4年間かかるので稲門祭も影響をうける。特にホームカミングディが影響 ④稲門祭のテーマ「The Next Generation」—ステップ・バイ・ステップ早稲田の未来へ— 稲門祭グッズ伝統工芸品を選定、4月10日より販売できる。

高橋哲男記

◎2月28日(土) 校友会春季代議員会

2月28日に大隈講堂で開催され、協議事項は2014年度活動報告及び決算予想、2015年度活動計画及び予算、校友会幹事の交代などが承認された。報告事項は2014稲門祭決算、2015ホームカミングデー及び稲門祭は10月18日(日)開催などが報告された。尚、稲門祭記念品は4月10日販売開始となっている。

別処尚志記

入会歓迎大特集

① 『稲門会会員はかく語りき』

<東久留米稲門会名簿掲載順>

東久留米稲門会 いいね!



大矢 真弘 (54年 文)

東久留米稲門会に入会したのは、創立まもなくの頃で、職場の上司の紹介で入会しました。まだ40歳前後でしたから、家に戻ると子育てその他で忙しく、稲門会活動は、年に一度の総会に出席する程度の会員でした。入会当時の総会では、知り合いも少なく、懇親会でも会話を交わせる先輩もおりませんでした。会を重ねて参加してくると徐々に話ができる先輩方も増えてきます。

現在の私は子育ても終わり、家にいるときの時間を持て余すようになってきたのですが、昨年、書道部に誘われ、初めてサークル活動に参加しました。月に一度、先生のお手本を見て、書いていき、手直しをしてもらい、更に翌月書いていくということを繰り返し、最終的には作品展に出品するという流れです。この毎月書かなければという緊張感が、子ども時代の宿題のようで懐かしさを楽しんでおります。

福島県出身ですが、東久留米に住んで20年になりますので、東久留米に対する地元愛も芽生えてくると同様に稲門会への気持ちも以前とは違ったものになってきました。

勤務先では若い方ではないのですが、稲門会に来ると若手になり、自分が若返った感じがしてお得です。入会を考えている方も考えていない方も、チョッと時間がありましたら、地元での交流も楽しいものです。参加できる時のみ、都合の良いときのみ、気軽に顔を出すという姿勢で入会してみたいかがでしょうか。

入会当時の思い出

塚越 崇 (43年 政経)

私が稲門会に入会したのは1997年で、設立3年目の総会の年でした。当時52歳で会社での仕事は忙しく、頭の中も仕事のことで一杯で、何回か入会案内を頂いても何ら興味を持ちませんでした。しかし、その年の春の入試で末息子が合格し、これから一緒に校歌を歌えることが出来る喜びと、学院3年、大学4年、社会人となって2年間大学担当涉外係として大学本部や教授の方々の研究室に出入りさせて頂くなど、10代後半から20代半ば過ぎまでの思い出は、早稲田と強く結びついていることもあり、3年目の総会案内を頂いたとき、これも何かの縁かなという気持ちになり、思い切って出席させていただきました。

総会では周りには見知らぬ人達ばかりで不安でしたが、今でも鮮明に覚えておりますが、今は故人と化された先輩が気を配って頂いたのだと思われませんが、パーティでニコニコしながら私に色々話しかけて下さり、気持ちが非常に楽になりました。私も近頃では、なるべく新しい人には声を掛けるようにしています。

交流の輪が広がり、色々な方々と接する中で、嬉しい事、楽しい事、嫌な事、不満な事等々、色々な面相が出てきます。以前の私でしたら自分流のスタイルで、誰にも煩わされること無く、生活をエンジョイしようと考えたでしょう。しかし、今は、そのような面相一つ一つが、私には有意義なものと思えるようになりました。稲門会での活動は、単調になりがちな生活にアクセントを付けてくれており、又、わたくしを元気づけてくれています。これからも、若い人達の加入を得て、発展していくことを願っております。



東久留米稲門会入会のこと

渡辺 真司(45年 商)

昭和 45 年卒業と同時に勤務の関係で兵庫県神戸市に移住。会社のワセダ OB の先輩に誘われ昭和 46、7 年頃、神戸稲門会に入会。異業種のワセダの先輩と山、海、スキーに狂い、酒を飲んだくれて・・・でもでも、いっぱい教えられてとっても楽しい時でした。甲子園球場での大阪稲門会との懇親野球大会は、生涯唯一の甲子園球場となった時でした。これが稲門会との出会いでした。



時を移して、平成 7 年、東久留米稲門会設立発起人の方より当会発足のお知らせを頂き 即入会を決めました。が現役サラリーマンであったので、とりあえず籍を置かせていただくだけでした。設立総会に出席、忘年会か新年会かは忘れましたが、日常の活動に全く参加していない為、右も左も知らない人ばかり。あたりさわりのない話をして楽しい思い出なし。これが 2 度目の稲門会との出会い。2 度目は、苦いスタートでした。会社人生まだ忙しいから、まあまあこれでよしと考えていました。

さあ 60 歳・・・会社人生も終わりに近づき、地元で遊んでいただける人と思うとほとんどいない。早く仲間を作らないとアルツ君がお友達になっちゃう。そうだ俺には、ただ会費をはらっているだけの稲門会があると気づき、どうしたら仲間に入れてもらえるのかと、じっと考え部活動だ・・・と思いつきました。普通の方はじっと考えなくても、すぐ思いつくことなのですが・・・ どの部へ 直近の東稲ニュースに太極拳の記事が載っていたことを思い出し、鮎貝代表に入部申し出をしたところ親切にお受けいただきました。

太極拳は、毎週活動している、これなら、仲間に入れてもらいやすいな、また高橋勤さん、帆角さん、市川さんの歴代会長をはじめ、当会をリードされてこられた方々が沢山参加しておられて、瞬間に懇意にさせていただきました。また会には一般市民の方も多数いらっしゃってすごい会だなと感じました。こうして東久留米稲門会の人生が始まりました。

「地元で遊べる」こんなに楽しく、嬉しいことはありません。どうぞ東久留米稲門会に未加入のワセダ OB・OG の方、早く入会して、部会に所属し、これからの人生 地元で一緒に楽しく愉快地に過ごしましょう。



部会参加のきっかけは・・

小野 泰右(49年 文)

東久留米に越してきて 10 年近く経ったある日、ふと気がついたのは、近所の方との挨拶以外に東久留米に住んでいる方と誰一人会話したことが無いという事実だった。60 歳を目の前にして、「こんなことでこの地で生活をしていると言えるのか。」との思いの中、何度か入会案内がポスティングされていた東久留米稲門会で、地域との関わりを持てればと、入会を決めた。

稲門会入会当日、懇親会での新入会員の紹介の後、故太田晴之助先輩が歩み寄り「小野さんゴルフはやるの？」と聞かれ「はい、やります。」と答えると、「そう、決まり、今度案内するから参加して」でゴルフ部会に入会。次の年の懇親会では栄田先生の奥様がいらして、書道部会の案内をされ、「一度、書道部の例会にいらしてみれば、..」とその場にいた武藤部会長を紹介され、例会行きが決定。又、大好きなラグビーの観戦会には、こちらから藍原さんをお願いして仲間に入れていただいた。

自らの意思ではなかった書道は小学生以来始めて筆を握ったのだが、武藤部会長初めとした師範クラスの前輩の熱心な教えもあり、少し見られる字になったのではと感謝している。へたなりに、字を書いていると雑念が薄れ、心落ち着く時間が持てるので、続けられたと思っている。部会以外でも、諸先輩の暖かい指導や、蘊蓄のある話をお聞きし、地域と人に関わり、見聞を広め、楽しい日々を過ごさせて頂いている。参加していない部会は未だ多い、会社を終え、時間が出来れば他の部会にも是非参加したいと思っている。

集まり散じて稲門会

平山 正経 (40年 政経)

稲門会に入会して早いもので 15 年になりました。入会は定年の 1～2 年前サラリーマン生活が終わると、どんな生活が始まるのだろうかという不透明さを感じていた頃、地元東久留米稲門会の入会案内を手にした。まずは総会に続く懇親会に家内共々出席したところ、流石は稲門、元気一杯の先輩達の中に数人の女性も居り和やかな雰囲気です。早速入会した。



以来、諸活動には積極的に参加した。その度に各分野で活躍して来られた先輩諸氏との異業種交流？は、それまでとは違い、上下関係が無く、話題は多岐に及び専門的で味わい深い、また教えられること多々、この間家族ぐるみの輪も広がり、定年後を楽しく過ごすことが出来て感謝している。

各行事終了の都度、反省会と称し気心知れた仲間と酌み交わす酒は、呑み助の私には至福の時であった。振り返ってみるといつの間に世代交代がされており、もう自分自身が先輩といわれる歳である。お世話になった東久留米稲門会は「集まり散じて・・・」絶やしてはならないと感じている。

また、東久留米稲門会は実に適正なサイズで活動がし易いためか、他稲門会と比較して活発で自分自身も策策山歩き、ゴルフ、書道、グルメ、郷土研究、ウォーキング、春秋早慶戦観戦、ラグビー観戦、諸芸術鑑賞、旅行、映画鑑賞会に参加するのを楽しみにしている。他に女性サークル、囲碁、俳句、太極拳、講演会など多彩な切り口があり、会員にはその情報が「東稲ニュース」として各月に届けられている。ありがたいことです。



私が稲門会に入った理由

吉川 明美 (52年 教育)

東久留米市には、20 年前の 6 月に引っ越してきました。その翌年の 3 月、封書を受け取りました。東久留米稲門会からで、総会のお知らせと「杜の西北」という会報が入っており、前年に東久留米市に稲門会が設立されたことが書いてありました。それまでいくつかの市に住んできましたが、稲門会から入会のお誘いを受けたことは無かったので、興味を持ちました。大学の校友会に入っていて住所変更もしていたので、引っ越したばかりの私のところにもお知らせがきたようです。

東久留米にまだ親しい人もあまりいなかったもので、入会すれば知り合いができるのではと思いました。ただ、入会しても男性ばかりではないかという心配がありました。何せ早稲田大学は男の大学ですから。すると、設立総会に出席した数名の女性会員が女性の部会を立ち上げたという「杜の西北」の記事を見つけたのです。女性の部会があるのならそこに参加してみたいと思い、総会に出席して稲門会に入会して女性の部会「女性サークル」に参加するようになりました。

参加してみると先輩も多く、皆さん知識が豊富で、それまで同年代か年下の人たちのお付き合いばかりだったので、先輩たちのお話を聞けるのは貴重な機会でした。入会以来女性サークルの活動に参加してきましたが、活動も楽しく知り合いも増えて、入会して本当に良かったと思っています。

私が稲門会に入った切っ掛け

橋 優治 (41年 商)

昭和 41 年に入社した会社に 28 年間勤めました。振り返ってみると家と会社との往復で、仕事柄土日出勤が多い期間が 15 年位ありました。第二の職場に平成 7 年に出向し、バブルの後始末をしながら新しい仕事に取組み、生活にも少しゆとりを持てるようになりました。そうすると 60 歳 (平成 15 年) の定年ももう間も



無くだなあと思い始め、定年後はどう生活するのかと考え始めました。

60歳の定年になった時に地域に知っている人や友人がいないことに気づきました。平成12年春に東稲ニュースと入会の案内が配布され、それが目に止まり総会、懇親会に出席し、入会しました。その後新年会で俳句部のメンバーから入部を誘われ、入部しました。俳句はまったく未知の世界でしたが、俳句の良さが少しずつですが理解できるようになり、句会を楽しんでいます。少しでも明るい分野を持つことは生活を豊かにしてくれます。

これからは健康年齢も大幅に伸び、70歳くらいまでは当たり前働く時代になると思われます。仕事、家庭生活、地域の生活、地域貢献を調和させながら、人生を楽しみましょう。

『句会浄土 九界曼荼羅 辛夷(こぶし)咲く』

稲門会というオアシス

河村 洋子 (41年 教育)

昨年東久留米稲門会は創立20周年を迎えましたが、私が入会したのは1998年の10月でした。その年の7月に夫を亡くし自由な生活が訪れました。たまたま早稲田で同じサークルだった二人の友人が入会していて背中を押されたのです。



同じ月にグリークラブの演奏会があり、いきなり未知の方達と受付を任されました。その時のことは今でも鮮明に思い出されます。それ以降様々な会、私的な飲み会など、時間の許す限り出席してきました。また、高橋会長の時に幹事を仰せつかり今に至っております。

ジプシーのような転勤生活だった私にとって、終の栖となった東久留米で校友の方達と触れ合うことは、とても心が和みます。一匹狼的な人が多いと思われる早稲田にしては、当会はかなり和が保たれています。趣味の会もたくさんあります。それ以外にも気心の知れた方達との個人的な会でも、本音をぶちまけ和気藹藹と行っております。

今の私にとっては稲門会なしの生活は考えられません。まさに当会は私のオアシスです。入会を迷っていらっしゃる方々、思い切ってこの会に飛び込んで見ませんか。心よりお待ちしております。

私にとっての稲門会

鮎貝 盛和 (35年 理工)

1 私が入会した切っ掛け

何時の頃だったかははっきり覚えていませんが、東久留米稲門会から総会案内・入会勧誘のダイレクトメールが配達されるようになり、地元稲門会の存在を知りました。当時はまだ現役でもあり、そのダイレクトメールの中に稲門会とは関係ない書類が同封され、それが何を意味しているのか疑問に思い、稲門会へ入会する気は全く起きませんでした。



平成10年秋に市立中央公民館{現まろにえホール(生涯学習センター)}で行われた「ワセグリ(早稲田大学グリークラブ)」の演奏会を聴きに行ったとき、久しぶりに松崎博君(大学時代の同級生)に会い、「おい、お前も稲門会に入れよ」と言われました。稲門会についての好からぬ噂も聞いていたので、そのことを質すと「そんなことはない。今は健全な会になっている。」と言下に否定されました。そこで、「13年になったら、サンデー毎日(定年退職)になるから、入会しよう。」と答えたのが入会の切っ掛けでした。約束どおり、平成13年の総会案内で入会手続きをし、総会に出席しました。

2 地元稲門会の楽しみ

さて、入会はしたものの、顔見知りには松崎君しか居ない状況でしたが、どんなサークル活動があるのかひととおり確認し、老後の手慰みにと「囲碁部」に入会したのが7月でした。(猛者が多く、未だに

棋力は級位者です) 同年9月の納涼懇親会に出席後の二次会で、9月に発足したばかりの「太極拳部会」への勧誘を受け、当時ジブシー的に稽古会場を転々としていましたが、10月から家内と共に入会し、現在まで続いています。(平成19年から「太極拳の集い」と改名)

また、その年発足した、「グルメ部会」の第1回会食会にも出席し、少しずつ交遊の輪を広げて行きました。その後、当時の二代会長の高橋勤氏から幹事にならないかと勧められ、ある意味では否応なしに稲門会の一員に引き込まれてしまいました。ポストマンを引き受けたことにより、滝山・弥生地区の地理にも詳しくなり、十有余ある部会・サークルに適宜参加することによって、現役時代にはなかった新しい交遊の場が拓けることになりました。

現在では「囲碁部」「太極拳の集い」の他「旅行部会」「グルメ部会」「ウォーキング部会」「諸芸術鑑賞会」「映画鑑賞会」等々に時間の許す限り参加するようにしています。特に「これッ」と言った趣味を持っているわけではないので、各種部会・サークルに参加することによって、サンデー毎日の日々を楽しんでいます。



稲門会の魅力

大島 勝典 (38年 文)

稲門会は楽しい。昨年、東久留米稲門会は20周年を迎え多彩な記念行事が行われ、記念誌も発行された。役員、幹事の方々をはじめ会員の熱い思いのエネルギーの結集、情熱が鼓動のように伝わってきたものだ。今後においてもわが稲門会は魅力的に一層の輝きを保ち疾走して行くことだろう。

東久留米稲門会は16の部会を有している。俳句、書道、ゴルフ、囲碁、太極拳、ウォーキング、旅行同好会などなど会員の多様な趣味、興味を吸い取ってくれるはずだ。例えば街の息づかい、四季のグラデーションを楽しむなら「ウォーキングの会」、見知らぬ場所で新鮮な発見と感動を求めるなら「旅行同好会」といった具合。各部会の幹事が黙々と汗を流して行動、そのエッセンスが網羅されている。

企業や組織体からの定年後は、地域社会に溶け込むことが第一歩になる。地域のコミュニティに現役時代の論理は通用しない。わが稲門会は現役もOBもとづくにそれを脱出して地域社会を形成している。

20年を越える稲門会の歴史は十分にその滋養を土壌にたくわえて拡大を願い、又この会のために貢献してきた会員のために新会員の増加が刺激となろう。何より嬉しいのは会員同志の親睦、交流は錆びつきそうな感性を洗い流してくれることだ。「稲門会に入ってよかった」思いを実感するに違いない。そして<地元>でくみ交す酒は格別である。

私が稲門会に入ったワケ

高橋 哲男 (50年政経)

私が大学に入学した頃は、学生運動で大学は荒れており、革マル派が民青の女子大生に自己批判を迫ったり、授業をボイコットする等正常な学生生活でなかった。その中でも学業や部活動に専念できなかったことは後悔する。文化祭も革マル派の資金源であったことで参加せず、神宮球場には足繁く通い、六大学野球早慶戦に勝って新宿コマ劇場までの優勝パレードが思い出である。このなかで後輩にはこのような学生生活をさせてはいけないことと、また時間に余裕ができたなら、学業をはじめ、学生時代体験できなかったことを具現化したい気持ちは残っていた。

第3回定時総会で日比野弘氏の「ラグビーに学ぶチームワークとリーダーシップ」の講演や第4回定時総会の瀬古利彦氏より「心で走れ」の講演等で稲門会の大学との結びつきの強さを感じ、稲門会を今後の大学との接点と考え、翌年平成12年に入会し、平成13年より、幹事となり現在に至っている。

今まで稲門会活動を通じて、六大学野球やラグビーの観戦、稲門祭の参加等大学行事への参加、春秋の代議員会で大学の現況の説明をうけている。このなかで思うことは、生活の厳しい大学進学希望の強



い学生に対して、校友会を通して支援することである。また、稲門会主催の総会、新年会、秋の旨いもの会の参加や太極拳、囲碁、俳句、書道等 15 部会活動を通じて、同趣味の仲間と親睦を深め、酒を飲みあいながら大学を語ることも稲門会に入会する動機となっている。

② 『東久留米稲門会 部会活動一覧』

部会・サークル	活動内容	活動頻度・場所	部会長
女性サークル	美術館・有名庭園などの見学、食事会	年 2～3 回	吉川 明美
散策・山歩き会	三峰山、日和田山等近郊の野山のハイキング	年 1～2 回	安次峰 暁
ゴルフ	近隣のゴルフ場で平日又は土曜日にプレー	稲門会独自は春秋年 2 回、三田会との対抗戦も春秋年 2 回	伊東 毅
囲碁	月 1 回の例会と毎年秋に合宿囲碁会(秩父・小鹿野温泉旅館)	毎月第 4 日曜日 午後 1 時～4 時 成美教育文化会館にて	荇草 正守
俳句	毎月句会を開催、兼題は 2 題 評価 3 点以上を東稲ニュース掲載	毎月 1 回、商工会館又は生涯学習センター	橘 優治
書道	毎月 1 回の例会 2 年に 1 回作品展開催	例会は毎月第 2 日曜日午後 1 時～4 時 生涯学習センター	武藤 豊
太極拳の集い	稽古は楊名時の健康太極拳 および簡化 24 式太極拳	毎週土曜日 10 時～11 時半 成美教育文化会館 春には花見を兼ねた野外稽古も	鮎貝 盛和
グルメ	安くて旨く気軽に参加出来る店を探し出し、食を堪能	年 2 回開催	比護喜一郎
郷土研究	史跡、文化財の見学 講演会の開催	1～2 年おきに開催	村野 建彦
ウォーキング	山の手線沿線及び都下の名所旧跡、話題の場所を歩く。最近の実績：赤坂周辺、トコノ森	年 4 回程度 盛夏、厳冬期を除く	東海 俊孝
カラオケ	東久留米駅北口「オンチッチ」でカラオケ会を開催	7 月、12 月各最終土曜日の年 2 回	高柳 康夫
春秋早慶戦観戦	野球早慶戦の応援・観戦	春秋 1 回原則第 1 戦	高橋 哲男
ラグビー観戦	早明、早慶、対筑波、対帝京を応援・観戦	秩父宮ラグビー場他	藍原 昌義
諸芸術鑑賞	各種演奏会の鑑賞など	早稲田オーケストラ、千住真理子など	菱山 房子
旅行	春秋年 2 回 1 泊 2 日のバス旅行を実施	信州安曇野、松島・南三陸町、鎌田温泉、会津などを訪れている	井坂 宏
映画鑑賞会	上映時の話題作、一流監督の代表作、アカデミー賞受賞作等、名作と云われた作品を自主上映	年 4 回、2 月、6 月、9 月、12 月を予定 成美教育文化会館と共催。無料にて同会館ホールで開催	米光慶二郎

【部会報告】

<芸術鑑賞会>

この会は、音楽のみならず広い芸術を含め、同じ趣味や興味を持つ会員同士の親交をめざしています。皆様からの企画やご提案をいつもお待ちしております。

今年も、恒例の早稲田大学交響楽団によるニューイヤーコンサート（指揮者：曾我大介氏）が、1月17日（土）練馬文化会館において開催されました。当会より17名の方が参加してくださいました。この時期、世界各地で演奏される、新春にふさわしい楽しいワルツの楽曲「ばらの騎士」他、ポルカ等々スラブ舞曲も華やかに演奏されました。更に今回はチャイコフスキー作曲ヴァイオリン協奏曲が主演奏曲目として演奏がありました。学生としてはなかなかの腕前の佐藤駿亮氏のヴァイオリンも楽しみました。

350名を擁する早稲田オケはいつも若々しく力強い演奏を聴かせてくれます。アンコール曲に続いて「都の西北」に終わるこの“ニューイヤーコンサート”、来年2016にも皆で良き年を迎え、皆で一緒に出かけたいと思います。当日の華やいだ気分とその時の高揚感を思い出しつつ。 菱山房子記

<グルメ部会>

近畿大学卒の鮎と言うことで話題となった近大鮎は噂どおりの逸品だった。

春の到来を思わせるホノ温かい2月27日の金曜日、今回の参加者は10時前東久留米駅に集合し有楽町駅に向った。開店の11時30分にはちょっと早いですが、連日開店かなり前から客で長蛇の列がなされると聞いて早めの出発としたもの。更に、30数席で予約制を敷いていない当店で8人同時同テーブルでの会食は難しい？と思われたので、今日の参加者の中で最若年で元気なナベさんに先着を託し、7名は直ぐ後から追い掛けるダメをおして置いた。果たして、効を奏して8人ピタリの個室部屋に全員着席することができたのは幸運と言うべきだろう。

おおトロからはじまる新鮮な魚の数々が見事に鮮やかに皿盛られ、味は言うに及ばず、落ちついた店の雰囲気、店員（近大卒ではない）のもてなしなど言うこと無しで正に和食文化の真髄に触れた感あり

だった。

席待ちの後続客があるようにてまだ時間は許されていたが、早めに店を出、当初案どおり都心を散策することにした。昨年遂に完通した俗称マッカーサー通りをソゾロ歩きし、これまた昨年完成したばかりの巨大高層ビル・虎ノ門ヒルズで、やがては東京のシャンゼリーゼ通りになると言うマ通りを見返りながらコーヒブレイク。春めいた日差しに気分も高揚、更に足を延ばし



て六本木から麻布十番へ。またぞろ小腹がすいてきたので老舗の信州蕎麦屋に入り冷たいそばをすすった。日が幾分長くなったとは言え東京タワーが夕焼けに染まってきた。

第26回のグルメ会はこれをもって終了し、それぞれ満ち足りた余韻に浸りながら帰宅の途についた。次回グルメ会は趣を180度回転し奥多摩の鹿料理を味わってみたいと思っています。 比護喜一郎記



<俳句部会>

1月18日(日) 第174回句会 於：生涯学習センター
兼題：「春隣」、「雑煮」、

旅先の一句を添えて賀状来る	棚野愛子
夜鴉の声の尖れる寒の入り	杉本達夫
旧友の旅の誘い春隣り	棚野愛子
初釜や一期一会の菽茶碗	河村洋子
幼な子に玩具の如き雑煮膳	片平るみ
子を寝かせつうとうと女正月	川俣栄一
ふる里の丸餅焼いて雑煮椀	大久保泰司
松とれて門柱淋し朝刊受く	比護喜一郎
ひろい読む万葉の歌春隣	杉本達夫
すじ雲の溶けゆく空や春隣	三田畔巢

2月15日(日) 第175回句会 於：商工会館
兼題：「犬ふぐり」、「鶯」

水仙の葉先をすべる一葉	棚野愛子
効き目なき啖飴舐めてバスを待つ	神田尚計
いぬふぐり廃校跡を明るうす	大久保泰司
見過してまた改めて犬ふぐり	三田畔巢
小さき手にバレンタインの贈りもの	比護喜一郎
星空を地に這わせたり犬ふぐり	馬場清彦
探れどもその姿なし初音かな	比護喜一郎
うぐいすの細目に明けし厨の戸	松田博雄

三点句以上



橋 優治記

特別寄稿

環境保全活動 15年 ～稲門の先達に導かれて～ (1)

佐藤 雄二 (37年 理工)

仕事からかなり解放されて時間にゆとりができた平成12年ころ、市内のあちこちを回って、東久留米の自然の豊かさに目覚めました。知り合った同志とともに「東久留米の水と景観を守る会」(以下 守る会) を立ち上げ活動を始めました。わが東久留米稲門会(以下 稲門会)の諸先輩からいろいろな助言・示唆をいただきました。

■雑学塾と市民大学

平成13年、稲門会で雑学塾がはじまり、講師を募集する呼びかけがありました。せっかく東久留米に住みながらその自然の豊かさに気づかない人が多いことが惜しいことだと感じていたので講師に名乗りを上げました。2週間、自転車で市内を走り回って目をつけていた樹林、清流、屋敷などの魅力箇所をスライドに撮り、スライドによる景観の紹介を行いました(第5回雑学塾 平成14年8月)。これは幸い好評でした。なお、その後平成18年12月にも第12回講演会「わがまち東久留米のこの景観を守り、楽しもう！」を担当させていただきました。

この雑学塾をきっかけとして市の教育委員会主催の市民大学中期コース(毎年15回程度の講座)の1講座を受け持ち、平成15、17、22年に市内の魅力ある景観を紹介する機会が与えられました。これには実行委員会での故荒川正行さん(稲門会、35年 商研(修) 平成23年10月逝去)の力添えが大きかったと聞いて感謝しています。

平成15年11月9日には稲門会郷土研究会の皆さんの柳窪見学会のお世話もしました。

■湧水・雨水

東久留米市は湧水・清流が豊富です。平成10年策定の市の「緑の基本計画」の中で「かつての湧水40か所余が23か所に減った。かつての湧水を復活しよう！」とあるのを見て共感し、効果的な手段と考えられる雨水貯留浸透ます設置状況を市役所の関係部門に聞いて回ったところ、データが整理されて

おらず全体の様子をつかむことができませんでした。そこで守る会の会員が交代で市役所担当課の前に出向き台帳を借り出して直接台帳からデータを取り出して雨水浸透ます数量調査を行いました。その結果を使って平成14年6月市議会に「雨水浸透施策」の促進に関する請願を出したところ全会一致で承認されました。その後も2回ほど請願を出して承認され、それなりの成果を上げたと思っています。

引き続き各分野での雨水貯留浸透利用の具体的な方法についての学習会「雨水浸透について考える」を行い、他市の状況、下水道、道路、地下空隙貯留などの雨水処理について学習しました(平成14年(2002)7月、9月、11月、平成15年4月)。毎回20~30名の熱心な参加者がありました。最後の5回目に「雨水博士」として知られている村瀬誠氏(雨水市民の会事務局長)を招いて「雨水は資源、水循環の主役」と題した講演会を開きました(平成15年10月)。講演では「水資源、遠くのダムより軒(のき)の雨」と唱え、新国技館建設に際してその広い屋根に降る雨水をすべて収容する大水槽を地下に造り、その水を多面的に活用するという世界で初めての試みを墨田区役所職員として実現させ、また途上国の水不足に有効な助言・指導をするという活躍の話は大勢の参加者にとって感銘深いものでした。

このような雨水利用は、安宅武一さん(28年商、稲門会初代会長)が実践しておられ、後に東稲ニュース第17号(平成16年5月)に「雨水貯留システム」と題して紹介しておられます。取材にお宅に伺い写真を撮り、平成17年6月に毎年市役所1階屋内外で行っている「環境フェスティバル」にパネルを作って出展し、また、平成22年12月に生涯学習センターで開かれた「湧水保全フォーラム全国大会」でも展示して、市民の雨水利用意識向上に大いに役立てることができました。(続く)

部会だより

<ウォーキング部会>

第48回ウォーキング部会「レインボーブリッジを歩いて渡り、お台場を散策」

日時:3月25日(水)、集合:8:55 東久留米駅改札口、費用:300円(交通費/飲食代/入館料は自己負担)
行程:7~8km程度 新橋⇒芝浦埠頭駅⇒徒歩<レインボーブリッジ>⇒お台場公園⇒自由の女神⇒
お台場海浜公園(昼食休憩)⇒浜辺散策<開花していれば花見>⇒船の科学館⇒日本科学未来館⇒
ヴィーナスフォートで解散⇒希望者は「貝の炭火焼」で打ち上げ予定 雨天延期・事前申込不要
連絡先:東海俊孝(042-473-8566) e-mail:toshi-tokai@kvj.biglobe.ne.jp

<散策山歩き部会>

「矢川と国立市南部」へのハイキング

日時:3月29日(日)、集合:9:15 東久留米駅改札口、交通費:950円、徒歩行程:約4時間、
反省会予定アリ、弁当、飲み物は持参、連絡先:川上昇一(042-471-1327) 安次峰暁(042-476-7163)

<旅行同好会>

「常磐道とスパリゾート・ハワイアンズ2日間」

旅行同好会の旅も7回目となり、第7回はバスで常磐道の名所・旧跡・旨いものを訪ね、スパリゾート・ハワイアンズに泊まる旅としました。いつものように東久留米市役所前をバスで出発し、常磐道を北上し昼食は漁協直営の食堂で海鮮丼を準備しています。その後天心記念五浦美術館、勿来の関、塩谷岬を見て、スパリゾート・ハワイアンズに泊まります。そこでポリネシアン・グランドステージをお楽しみ頂きます。私も昨年このステージを見ましたが、原発事故で傷ついた福島を元気にしようと頑張っている姿に感動しました。

翌日は袋田の滝を見て、那珂湊で昼食とショッピングをお



楽しみ頂きます。大洗の明太子工場は一見の価値があるということです。

なお、今回のバス旅行は約1時間毎に休息を取るようになっていますので、皆さん安心して参加してください。新緑の一番美しい季節です。気のおけない仲間と楽しい旅に出かけませんか。新しい方の参加をお待ちしています。

○旅行日 平成27年5月14日(木)～15日(金)

○集合 5月14日(木) 6時45分 東久留米市役所前

○行程 5月14日(木) 東久留米市役所7:00＝外環・常磐道＝8:20守谷SA＝9:20友部SA＝10:35北茨城IC＝10:45野口雨情記念館11:45＝11:30大津漁協直営市場食堂(昼食)12:30＝12:40天心記念五浦美術館13:40＝13:55勿来の関14:35＝15:00塩谷岬15:30＝16:15スパリゾート・ハワイアンズ(泊)

5月15日(金) スパリゾート・ハワイアンズ8:30＝いわき湯本IC＝常磐道＝9:10高萩IC＝9:25花貫溪谷10:00＝10:40袋田の滝11:20＝12:30那珂湊(昼食・ショッピング)13:30＝13:40大洗港(明太子工場)14:00＝水戸大洗IC＝15:00守谷SA＝常磐道・外環＝16:15和光IC＝17:00東久留米市役所 *昼食はにぎり鮎

○旅費 3万5千円

参加希望の方は井坂(042-477-1632) または 平山(042-473-3289)へご連絡ください。

東稲広報室

<新年会収支報告>

【収入】: 147,000円(会費49名分)、【支出】: 会場費(備品代含む)15,350円、料理90,000円、飲み物18,157円、配膳費用10,000円、その他雑費1,638円、合計135,145円、【収支】: 11,855円の残

<未入会校友アンケート>

未入会の校友に向けて、今号配付時にアンケートをお願いしています。是非ご回答を!

(会員リレーエッセイ) ～噴水広場～

「カナディアン・ロッキーへの旅の思い出」

平子 敏夫(36年 教育)

カナダ生活について、性懲りもなく書かせていただきます。今回は、カナディアン・ロッキーを観光したときの、主に、その往復の道のりについて書いてみます。すでに行かれた方々も大勢いらっしゃると思いますが、これから行ってみようと思っている方々の参考になれば幸いです。

カナダで生活を始めたのが、1998年4月だったが、当初は、カナダを車で東海岸まで横断して、帰路はアメリカ北部の諸州を東から西へ横断してバンクーバーに戻って来たいという希望を持っていた。当時の年齢は、わたしが62歳、妻が56歳で、まだまだ若かった。体力的にも充分元気だった(ような気がする)。しかし、いきなり大陸横断は無謀なような気がして、試しにカナディアン・ロッキーの麓まで往復してみることにした。出発したのは、1999年の8月1日だったと思う。カナディアンロッキーと云えばBanff(バンフ)が一般的な観光地として知られていた。ドライブには自信があったが、Banffまで一日で走破するには、10時間ほどを要するので、念のため、二日に分けた。午後1時に家を出てNo.1 Highway(別名 Across Canada Highway)を東へ向かう。そのまま行ってKamloops(カムループス)を経由すればバンフへの近道であるが、途中 Hope から No.5 Highway を取り、更に Merritt(メリット)から 97 号線を通って Okanagan Valley(オカガンの) Kelowna(ケローナ)へ。Hope からは殆ど山道の登りである。遠方に臨む山肌が紫色に染まり、なんとも云えない景色と雰囲気を感じた。やがて、山の上から Okanagan Lake を見下ろしながら下って行き Kelowna に到着。そこで一泊し、翌日バンフを目指すことにした。Surrey の自宅から Kelowna まで約 400km、4 時間のドライブである。ついでながら、オカナガンとは

Okanagan Lake を囲む Okanagan Valley という盆地を差し、美味しいワインの産地として有名である。(残念ながら、日本では Okanagan 産のワインは見かけない)

南から、Penticton, Kelowna, Vernon という三つの町がある。いずれも夏の観光地であり、また退職後の隠遁所としても美しい魅力のある町々である。ただし、夏はかなり蒸し暑い。夕食後、ホテルで聞いて適当なワイナリーを訪れた。野外レストランが併設されていて、観光客でにぎわって



いた。試飲をして数本のワインを入手した。翌朝は、97号線をもっぱら北上し、No.1 Highway に合流、一路バンフを目指す。朝10時ごろに Kelowna を出発して Banff に到着したのは午後4時頃だったと記憶している。途中、Revelstoke(レヴェルストーク)のレストランで昼食を摂っただけで休息はほとんどしていない。Kelowna/Banff 間は600km 見当の距離だと思う。この間の景色は殆どずっと wild である。

Highway では、多くの Camping Car に出会う。彼らはホテルに泊まる贅沢な旅を志向していない。私には Camping Car で寝泊まりする豆さはない。Banff のホテルは山小屋風の丸太づくりを模した洒落た建物だが、部屋が狭い。Banff は Canadian Rocky のベースとなる地なので、街は賑やか、飲食店も観光客狙いで結構世知辛い。概して美味くない店が多い。日本食もあるが、私はお勧めしない。むしろイタリアンの方が無難だろう。到着した日は疲れたが折角だから夕食後町を散策した。一本の目抜き通り(ほんとの直線道路で総延長は2~3km)の両側にホテルと飲食店、土産物屋が並んでいる。物価は概して高い。Surrey の日常生活でお馴染みのスーパーストア”Safeway”で朝食用の食料を買い揃えて、翌朝の Banff 観光に備える。Banff は湖があっちこちに散在していて旅人の目を楽ませしてくれる。

日本の観光地の湖とは違い見物人も少なく湖も wild で静かで、すこし不気味なところもある。湖の名前は一つ一つ覚えていない。Banff は国立公園であるので、入る時、車に乗ったまま「入園料」を取られる。われわれ初めてのものには、ちょっと戸惑う経験だった。5泊6日程度の予定であったので(入園料は滞在期間によって金額が異なる)、たしか\$10程を払った。Banff を基点に Lake Louise(レイク・ルイズ)や Columbia Ice Field(コロンビア大氷原)へ足を伸ばしたかったが、生憎、前夜半の雨で道路が土砂崩れのため遮断され、どちらにも行けなかった。唯一足を伸ばしたのは、Calgary の町である。特筆すべきは Banff から Calgary に至る No.1 Highway の両側に展開する景色である。美しく、そして雄大でなだらかに傾斜した草原で、ゆったりとドライブが楽しめた。Banff の周りでハイキング、釣り、バイキング、ボート漕ぎ、などなど種々のレクリエーションが可能であったが、初めての土地でもあり遠慮した。この辺にくると野生動物にもお目にかかる。例えば、Elk(えらじか)などが、のんびり草を食べていたりする。

15年以上前のことでもあり、記憶が薄れてしまい、もっと詳細にお話できれば、更におもしろい記事が書けたであろうと思うが、意のままにならぬのが悔しいところである。帰路は、もっぱら No.1 Highway を辿り、Kamloops に至り、ここで一泊。翌朝 No.5 Highway を一路西へ西へと Surrey の自宅へ戻った。たしか昼過ぎには帰宅したと思う。全行程を通して、殆ど晴天に恵まれ、日本では味わえない景色や文化に触れることができ楽しいドライブ旅行であった。

<編集後記>

3月6日は24節気の1つ啓蟄。陽気に誘われ土の中の虫が動き出すころのことだそう。いよいよ春本番。来月は最大の行事、総会があり、今号は総会特集及び会員勧誘特集でもあります。この編集後記まで熱心に読んでくださった、入会をためらっておられるあなた、是非、入会してみても如何ですか。